◎関税及び貿易に関する一般協定のジュネーヴ議定書(千九百六十七年)に附属 リカ合衆国政府との間の交換公文 している第三十八表注釈7に掲げる追加譲許の実施に関する日本国政府とアメ

(略称) ASP廃止に係る追加譲許実施に関する日米取極

昭和四十五年 三 月 十八 日 昭和四十四年十二月二十四日 昭和四十四年十二月二十四日 効力発生 告示 ジュネーヴで

米国側書簡…………………………………………………………………………………… 二八七 ページ (外務省告示第五三号)

日本側書簡

目

次

(派文)

(関税及び貿易に関する一般協定のジュネーヴ議定書(千 追加護許の実施に関する日本国政府とアメリカ合衆国政 九百六十七年)に附属している第三十八表注釈々に掲げる

(米国側書簡

府との間の交換公文

る一般協定のジュネーヴ議定書(千九百六十七年)に附属して いる第三十八表の日本国の譲許表に関する注釈りの規定に定め 書簡をもつて啓上いたします。本使は、 関税及び貿易に関す

る期限の延長に関する千九百六十八年十二月二十七日付けのア 言及する光栄を有します。 メリカ合衆国代表部プローディ公使と閣下との間の交換公文に

ます。 で延長することをアメリカ政府に代わつて提案する光栄を有し との期限をさらに一年間、 すなわち千九百七十一年一月一日ま

前記の書簡に言及されている延長された期限に関し、本使は、

長するための両政府間の合意を構成するものとすることを提案 ものであるときは、 本使は、さらに、前記の提案が貴国政府にとつて受諾しりる との書簡及び閣下の返簡が通告の期限を延

つて敬意を表します。 本使は、以上を申し 千九百六十九年十二月二十四日 進めるに際し、 とこに重ねて閣下に向か

ASP廃止に係る追加譲許実施に関する日米取極

する光栄を有します。

(United States Note)

December 24,

Dear Mr. Ambassador,

the Geneva (1967) Protocol to the General notes to Schedule XXXVIII - Japan annexed of the time limit given in paragraph 7 of the and Your Excellency concerning the extention Minister Brodie of the United States Mission of letters dated 27 December 1968 between Agreement on Tariffs and Trade. I have the honor to refer to our exchange

January 1971. a further year, that is to say until 1 America, to extend again the time limit for of the Government of the United States of have further the honor to propose, on behalf referred to in the above mentioned letters, I With reference to the extended time limit

ments to extend the time limit accordingly. constitute an agreement between our two Governsuggest that this letter and your reply should your Government, I have further the honor to If the above proposal is acceptable to

of my highest consideration. opportunity to extend the renewed I avail myself, Excellency, of this assurances

Sincerely yours

在ジュネーヴ国際機関アメリカ合衆国代表部

大使 アイダー・ライムスタッド

在ジュネーヴ国際機関日本政府代表

大使

中山賀博閣下

Permanent Representative of Ambassador

Switzerland

International Organizations in Geneva,

Japan to the

H.E. Yoshihiro Nakayama

(Japanese Note)

December 24, 1969

Excellency,

dated December 24, 1969 reading as follows:-I have the honour to refer to your letter

"(United States Note)"

behalf of the Government of Japan that the

I have further the honour to confirm, on

time limit specified in the said paragraph. our two Governments to extend accordingly the reply should constitute an agreement between Government and also that your letter and this proposal set out above is acceptable to my (日本側書簡

(米国 側書簡

月二十四日付けの閣下の次の書簡に言及する光栄を有します。

書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百六十九年十二

簡日 本側書

爾文

る期限を延長するための両政府間の合意を構成するものとする ものであること並びに閣下の書簡及びこの書簡が注釈りに定め 本使は、さらに、前記の提案が本国政府にとつて受諾しうる

ことを日本国政府に代わつて確認する光栄を有します。

二八八

(Signed)

Idar Rimestad Ambassador

つて敬意を表します。 本使は、 以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

千九百六十九年十二月二十四日

在ジュネーヴ国際機関日本政府代表

特命全権大使 中山賀博

在ジュネーヴ国際機関アメリカ合衆国代表 大使 アイダー・ライムスタッド閣下

> tunity to extend the renewed assurances of my highest consideration. I avail myself, Excellency, of this oppor-

(Signed) Yoshihiro Nakayama

Permanent Delegate of Japan and Plenipotentiary izations in Geneva to the International Organ-Ambassador Extraordinary

H.E. M. Idar Rimestad

Geneva and other International Organization in States to the Office of the United Nations Permanent Representative of the United Ambassador

八一四号参照)に引き続き、さらに一年間重要することで言うによります。「許の実施に関する通告の受領期限を一九六九年の取極(昭和四十三年多数国間条約集・条約集第一七六二号参照)のわが国の譲許表に関する注釈7に定める追加譲三年多数国間条約集・条約集第一七六二号参照)のわが国の譲許表に関する注釈7に定める追加譲三年多数国間条約集・条約集第一七六二号参照)のわが国の譲許表に関する注釈7に定めままでは、ケネディ・ラウンド交渉の結果作成されたGATTのジュネーヴ議定書(昭和四十二2の耶極は、ケネディ・ラウンド交渉の結果作成されたGATTのジュネーヴ議定書(昭和四十二

参考)

さらに一年間延長することを定めたものである。